

平成 20 年住宅・土地統計調査結果 速報 の概要（要約）

調査の概要

目的：住宅、土地の保有状況及び世帯の居住状況等の実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにする。

調査時期：平成 20 年 10 月 1 日現在（第 1 回は昭和 23 年、5 年周期、平成 20 年は 13 回目）

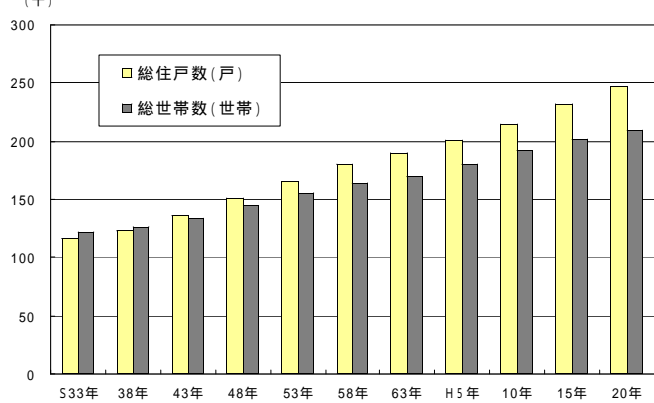
調査対象：約 15,500 世帯（全国約 350 万世帯）

1 総住宅数と総世帯数

総住宅数は 247,200 戸

鳥取県の総住宅数は 247,200 戸
 （前回比 6.9 % 増）
 総住宅数が総世帯数 209,600 世帯を
 37,600 上回る

図1 総住宅数及び総世帯数の推移（昭和33年～平成20年）



2 居住世帯の有無

総住宅数の 15.4 % が空き家

総住宅数 247,200 戸のうち、居住世帯のある住宅 1 の数は 208,600 戸（総住宅数の 84.4 %）

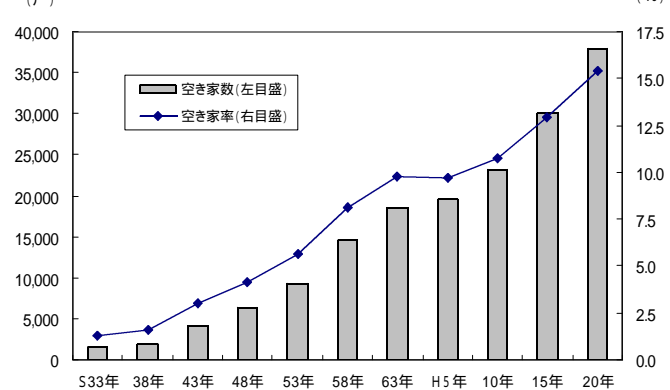
空き家は 38,000 戸（前回比 26.7 % 増）

空き家率 2 15.4 % は全国第 7 位

（全国 13.1 %）

- 1 ふだん人が住んでいる住宅
- 2 総住宅数に占める割合

図2 空き家数及び空き家率の推移（昭和33年～平成20年）



3 建て方、構造

共同住宅の割合が増加

建て方別住宅数は、一戸建が 153,900 戸（73.8 %）、長屋建が 7,200 戸（3.5 %）、共同住宅が 47,300 戸（22.7 %）、その他が 300 戸（0.1 %）

共同住宅は前回比 11.3 % 増

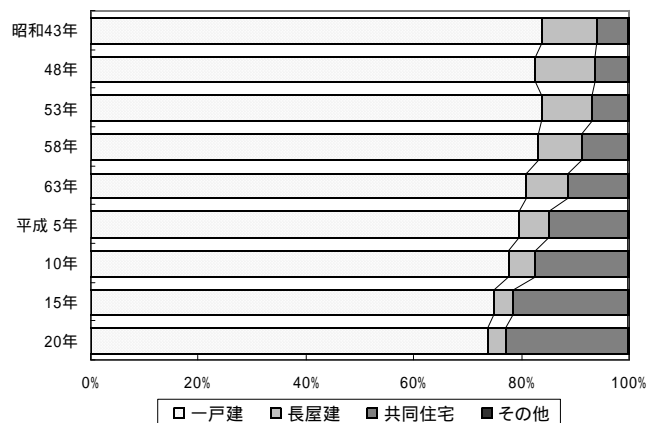
一戸建率 73.8 % は全国第 14 位

（全国 56.5 %）

共同住宅率 22.7 % は全国第 35 位

（全国 41.7 %）

図3 住宅の建て方別割合の推移（昭和43年～平成20年）



不燃化が進む住宅の構造

住宅の構造別では、木造は 114,100 戸 (54.7%)、防火木造は 47,200 戸 (22.6%)、非木造は 47,300 戸 (22.7%)

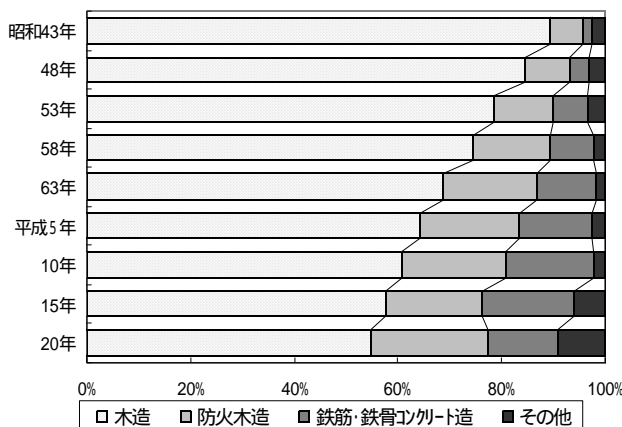
前回比は、木造 1.5%減、防火木造 26.5%増、非木造 1.1%増

木造率 377.3%は全国第 12 位 (全国 58.9%)

非木造率 22.7%は全国第 36 位 (全国 41.1%)

3 防火木造を含む

図4 住宅の構造別割合の推移 (昭和43年～平成20年)



4 所有の関係

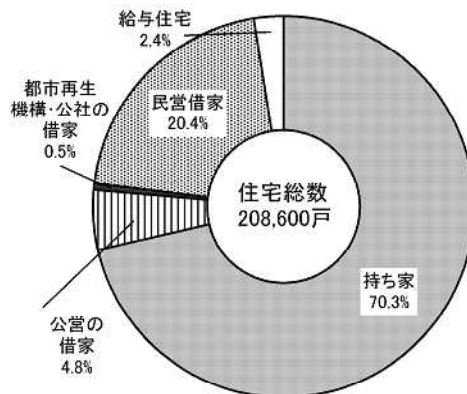
持ち家住宅率は 70.3%

住宅の所有の関係別では、持ち家が 146,600 戸で、持ち家住宅率 4 は 70.3%、借家は 58,900 戸、28.2%

持ち家住宅率 70.3%は全国第 18 位 (全国 61.2%)

4 住宅全体に占める割合

図5 住宅の所有の関係別割合 (平成20年)



5 住宅の規模

専用住宅の 1 住宅当たり延べ面積は 122.11 m²に減少

「専用住宅 5」の 1 住宅当たり居住室数、居住室の畳数及び延べ面積 6 は、それぞれ 5.85 室 (前回比 0.17 室減)、39.19 畳 (前回比 0.47 畳減)、122.11 m² (前回比 3.47 m²減)

5 居住専用に建設された住宅

6 居住室のほか玄関、トイレ、台所などを含めた住宅の床面積の合計

図6 持ち家・借家別にみた専用住宅の1住宅当たり延べ面積の推移 (昭和43年～平成20年)

